

詩人の恋

THE POET 顧城別恋
ブルガリア国際映画祭主演男優賞(スティーブン・フォン)
トロント国際映画祭正式出品作品

ゴールデン・カルチャー・タイムズ製作
ゴールドハーバー・インターナショナル・フィルムズ提供

製作・監督:ケイシー・チャン 撮影:ブーン・ハンサン
出演:スティーブン・フォン テレサ・リー 森野文子

1998年度作品 / 香港映画 / ビスタサイズ / ドルビーSRD / 上映時間1時間54分 / 北京語版
© 1998 Gold Harbour International Films Ltd. ALL RIGHTS RESERVED



1993年10月8日 ニューゼaland、一人の詩人が妻を殺害して自殺した。これは真実の物語。

文化大革命終焉後の中国で、若者たちに「朦朧詩」という新文学で人気を博した天才詩人グー・チョン(顧城)。彼は妻と愛人の二人の女性と移民先のニューゼalandで生活し、理想のエデンの園を作ろうとした。だが3人の関係は崩壊し、1993年10月8日、彼は妻を殺害し自らの命を絶った。実在したこの詩人の波瀾にとんだ人生に起った事実をもとに、破壊していく彼の姿を映画的に描いた作品が『詩人の恋』である。

天才詩人グー・チョンを演じるのは『美少年の恋』のスティーブン・フォン。本作でブルガリア国際映画祭主演男優賞を受賞し、目で演じる狂気の表情が悲劇を強烈に印象づけている。妻レイミー役に『ボクらはいつも恋してる! 金枝玉葉2』のテレサ・リー。そして愛人チン・イーを日本でアイドルとして舞台で活躍の森野文子が激しいラブシーンに挑戦した。

製作・監督を手掛けた女流監督のケイシー・チャンは、グー・チョンの親族から協力を受け、グー・チョンの人間的な姿を追求した。また、彼が書き残した詩の数々を劇中に取り入れて彼自身を浮かび上がらせることに成功している。そしてニューゼalandでのロケも敢行し、『ロアン・リンユイ 阮玲玉』で香港電影金像獎最優秀攝影賞を受賞した名カメラマン、ブーン・ハンサンとの映像美によって見事に描かれている。

◆顧城(グー・チョン)とは

中国現代詩人で、雑誌『今天』の同人のひとり。1956年北京生まれ。80年代に“朦朧詩”と言われる独特の詩情は若者たちに熱狂的に受け入れられた。88年中国を離れ、妻とともにニューゼalandで原始的な生活を送るが、93年10月8日妻を殺害して自殺する。代表詩集には『闇の眼』(86)『墓床』(93)などがある。

暗黒の夜が私に暗黒の眼をくれた。私はその眼で光明を探し求める。 一闇の眼より



スイート・ムーンライト

天旋地恋 WHEN I LOOK UPON THE STARS

ジミー・ロウ プロダクション提供 ア・ビー・ブルズ プロダクション製作
製作:ゴードン・チャン チャン・ピンカイ 監督:ダンテ・ダム 撮影:トニー・チャン
出演:レオ・クー スー・チー サム・リー アニタ・チャン 三田あいらり エリック・ツァン

1999年度作品 / 香港映画 / ビスタサイズ / ドルビーデジタル / 上映時間1時間42分 / 広東語版
© 1998 JIMMY LAW PRODUCTION ALL RIGHTS RESERVED Licensed by Golden network Limited

TOKYOで出逢った、とびっきりキュートなラブストーリー

ここ数年香港では空前の日本ブームが起き、『東京攻略』といった作品や、仲村トオル、加藤雅也、常盤貴子、藤原紀香といった日本の俳優が出演するなど、21世紀に向けて日本と香港の映画コラボレーションはますます盛んになっている。それに先立ち、東京を舞台に、香港からやってきた若き男女2組のカップルの恋を描いた青春ラブストーリーが『スイート・ムーンライト』である。

東京へ留学している恋人ジューン(アニタ・チャン)のもとへやってきたケイ(レオ・クー)は、彼女が親友サム(サム・リー)とできていたことを知って傷ついてしまう。そんな彼の心を慰めたのは、ウェイトレスをしながら芸能界を夢みるキキ(スー・チー)だった。人を好きになる男女の純粋な気持ち、そして友情や夢といった世界を描きながら、新宿、下北沢、原宿といったお馴染みの場所を舞台に展開される恋の結末は、あなたの心にほっとした気持ちを与えてくれる作品といえよう。

主演の2組の男女を演じるのは、ニコラス・ツェー共々“香港小四天王”のひとりとして歌手として活躍するレオ・クー、日本でも『ゴージャス』『風雲ストームライダーズ』でお馴染みのスー・チー、『メイド・イン・ホンコン』『ジェネックス・コップ』のサム・リーといった若手スターの面々。彼らが喋るただどしい日本語は、なんとキュートでウケること間違いなし。また『ラヴソング』のエリック・ツァン、日本から金融会社CMの姫役でお馴染みの三田あいらりが共演しているのも見のがせない。

製作は『デッドヒート』の監督としても有名なゴードン・チャンが担当し、監督は俊英のダンテ・ラムが東京に住む香港の若者たちの姿を的確に描いている。



7月21日(土)~8月3日(金)
レイトショー / 連日PM8:40~

パラダイスシネマ 心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F
06(6282)1460
共通前売券は劇場窓口・チケットぴあ・ローソン・市内PGにて発売中★窓口では先着でポストカード付(1枚につき、いずれか1つ)★各作品、初日ご入場の方に先着でキャビネプレゼントあり!

8月4日(土)~8月10日(金)
レイトショー / 連日PM8:40~